



NPO法人 東日本大震災を風化させない会・100通りのありがとう
石巻・川の上プロジェクト

旗揚げイベント

ひゃく ひゃく ひゃく
「100☆百☆飛躍プロジェクト」

ドキュメンタリーシネマMUSICAL

とびだす100通りのありがとう

出演=宮城県石巻地域 3歳~83歳までの被災者112名による舞台映像。



MUSICAL
100WAYS OF THANK YOU

●作・演出・音楽=寺本 建雄 ●振り付け=室町あかね ●衣装=たかひら みく

これほど心を揺さぶられたミュージカルは初めて!

全員被災者、全員シロウトだなんて
信じられないほど、心に響きました。おみごと!

山寺宏一(声優)

●日時● 2017年 3月20日 (月・春分の日)

開場12:30 開演13:00

●場所● こもれびの降る丘 遊楽館 (宮城県石巻市北村字前山15-1)

●料金● 全席自由 大人1,000円 子ども500円 (6歳~18歳)

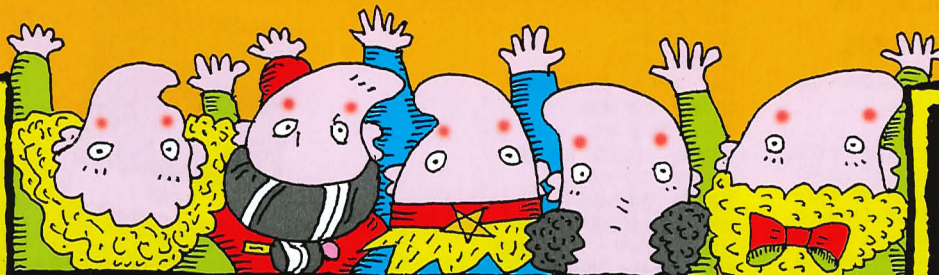
第一部/寺本 建雄 参加型コンサート 13:00~13:40

第二部/ミュージカル「とびだす100通りのありがとう」13:40~15:10

*前日3月19日 PM 6:00より東京からのお客様をまじえて懇親会あり。是非ご参加を!

川の上・百俵館にて (石巻市小船越字山畑343-1)

3.11 DOCUMENTARY MUSICAL CINEMA



[主催] ■NPO法人 東日本大震災を風化させない会 100通りのありがとう
■石巻・川の上プロジェクト



『とびだす100通りのありがとう!』の映像は日本国内はもちろん、世界中で各方面から絶賛を浴びている。国連防災会議映画祭、学校での防災教育、地域・職域イベントでも上映され、多くの感動を呼び起こしている作品だ!



ドキュメンタリーシネマMUSICAL『とびだす100通りのありがとう!』は宮城県石巻地域の3歳~83歳までの被災者112名の出演者が日本中・世界中から寄せられた支援に対する感謝の気持ちを忘れないために2012年3月18日、東京・銀座のブロッサム劇場で2,400人の観客を前に語り、歌い、踊った作品の映像です。

2015年9月11日、「ニューヨーク同時多発テロの犠牲者と石巻ALTテイラー先生の追悼コンサート (New York Society for Ethical Culture Concert Hall)」、翌16年3月12日にはシアトルの「Shout Out to Japan (Teatro ZinZanni)」にも招聘され絶賛されました。しかし、これまで心より応援してくださった石巻地域には、ご覧いただけない方々がまだ大勢いらっしゃいます。そこで、この作品を是非観ていただきたく思い、このたび上映会を企画しました。

協力：石巻市、東松島市、女川町、公益財団法人石巻市芸術文化振興財団、石巻市教育委員会、東松島市教育委員会、女川町教育委員会、石巻市文化協会、東松島市文化協会、石巻日日新聞社、石巻かほく、ラジオ石巻FM76.4

***** 観ていただいた方々からのことば *****

この映像は、まさに 3.11 の冷凍保存だ。ずっと新鮮に残りつづける。(山根木晴久)

出演者のみなさん「生きてくれてありがとう。」(M・N)

もっともっと沢山の人々に、日本中・世界中の人に観てもらいたい。二度とこんな作品を観ることはもう出来なんでしょう。超大感動をありがとう。(田村一郎)

ひんしゆくを買うかも知れませんが、舞台のみなさまが美しく輝いてうらやましかった。最も苦しんだ人が最も幸せになれる権利があるんだと思いました。(R・K)

戦争に負けて19年で新幹線を走らせオリンピックを成功させた頃、国も本気だった。いま国は本気出しているのか。きょうのみなさまの本気、国の人たちに観てもらいたかった。感動しました。(T・T)

感動いっぱいミュージカルだった。舞台からくり返される「ありがとう」の声に感じて最後には観客からも拍手とともに「ありがとう」の声が沸き起こった。ほくもそれに加わっていた。(小田嶋雄志)

想像を絶する奇酷な体験、辛さ、悲しみ、くやしさ、後悔…みなさまの姿がこんなに気高いなんて。(H・Y)

涙が止まらなかった。小さい子供もガンバッている。仕事の悩みなどバカらしく思えました。(Y・I)

「100☆百☆飛躍プロジェクト」とは…

約400世帯が暮らしている石巻・川(かわ)の上(かみ)地域に、沿岸部で被災した400世帯の集団移転(河北団地)が決まった。100年先、200年先に思いを馳せ、世界に誇れる素敵な地域モデルをとの思いで作られたのが「百俵館」(石巻市小船越字山畑343-1)。その運営委員長・三浦秀之さん(杏林大学専任講師)は5年前、ミュージカル『とびだす100通りのありがとう!』の稽古会場東松島に、東京の仲間50人と共に差し入れを携え足を運んだ。公演当日も銀座の劇場でボランティア200人と共に準備に走り回っていた。2,400人の観客の中には「百俵館」の理事長・三浦信行さん(当時、国士舘大学学長)もいらしていた。そしてイシノマキ・カワノカミ大学学長の木村民男さん(当時、東松島市教育委員会教育長)もお手伝いをして下さっていたという。確かに、木村さん、何故か出演者の集合写真に写っておられた(これにはビックリ! 出版された本=下記で確認。いました!)そして出演者の中学生(当時)・須田あやのちゃんは三浦さんの親戚だったと聞いて、またまたビックリ! 今回 NPO法人 東日本大震災を風化させない会 100通りのありがとう(東京都荒川区荒川4-25-8 サウルスマンション内)と川の上プロジェクトの面々が再会、幾度となく話し合ううち、「力を合わせましょう!」との劇的な化学変化が、「100通り」の100と「百俵館」の百と、その飛躍を願い、「100☆百☆飛躍プロジェクト」が発足したのは幾重もの偶然が生みだした必然としか言いようがない。(そふえ まな)



◆作・演出・音楽
寺本建雄
(LALALA Office LLC)

北海道のお寺の生まれ。この道に入る前は東京都の役人として建築の検査官。今まで作曲したミュージカルナンバーは800曲を超える。第19回 菊田一夫演劇賞はじめ受賞多数。ひと目で彼の作品とわかるイラストもすごい。音の出る物は何でも楽器にし演奏する。一人コンサートも講演会も人気。2015年9.11ニューヨークテロ追悼コンサートに招聘され、2016年3.11シアトルでのコンサートと上映会でも絶賛された。

STAFF

- ・構成台本・演出・音楽・美術/寺本建雄
- ・撮影ディレクター・プロデューサー/川松文男
- ・音響/祖父江 晃
- ・照明/坂本幸一
- ・舞台監督/原 有人
- ・振付・ステージング/室町あかね
- ・振付助手/かず ゆうと
- ・衣装/たかひら みく
- ・撮影技術/川添正春 川松文男
- ・編集/モンスターゾーン
- ・英語字幕/寺本ららら・ジェーン・コーディー
- ・技術協力/手塚正信 武井文均 Visual Education Japan
- ・総合プロデューサー/祖父江 真奈
- ・制作/LALALA Office LLC
- ・協力/支援する東京の会
- ・ギター製作/ヤイリギター

おすすめ新刊本



『とびだす100通りのありがとう!』
ミュージカルの立ち上げから作品づくり、稽古の特訓、裏方の苦労まで。奇跡の舞台完成までを描いたドキュメンタリー。
岩中祥史 著
第三文明社発行
定価 1,300円(＋税)